

＼ 愛知県内6位! ／

強みをいかし、課題に挑む 尾張旭市議会の議会改革

～市民に開かれた、信頼される議会を目指して～

1 政策力の強化

◆ 政策立案を行う際の流れを明確化!
委員会による積極的な政策立案を行っています。

- 中学校の休日部活動の指導者確保に関する提言
(福祉文教委員会)
- モバイルバッテリー等を含むリチウムイオン電池
を使用する製品等の適正排出及び火災防止対策に
関する提言(都市環境委員会)



◆ 効率化により、政策力を高めています。

- 議会運営にタブレットや会議システムなどを導入し、ICT化を進めています。
- 委員会へのオンライン出席を制度化しました。
- 議会の手続のオンライン化を進めています。

3 議会機能の強化

◆ 尾張旭市議会BCP(業務継続計画)を策定し、随時見直しています。

◆ 予算・決算説明の事前配付により、予算決算委員会分科会の効率化を進めています。

総合評価 全国**161**位 [▲39位UP]

地域経営のための議会改革度調査2025

政策力の強化
全国**300**位以下

主権者の参画
全国**243**位

議会機能の強化
全国**30**位

愛知県内
1位

(早稲田大学デモクラシー創造研究所) 全国1,788議会を対象に1,372議会が回答(回答率76.7%)

「議会改革度調査2025」において、本市議会は総合順位を大幅に伸ばし、愛知県内6位となりました。特に、県内1位に輝いた「議会機能の強化」は、本市議会が誇る最大の強みです。2026年にはこの強みをいかし、課題である「政策力の強化」や「主権者の参画」の克服に注力しています。市民の皆様に寄り添う政策提案型議会へ、更なる進化を目指します。

2 主権者の参画

◆ 市民との意見交換をメインとした議会報告会へ。

- 福祉文教委員会 ▶ 令和8年4月26日に「どうする？ どうなる？ 中学校部活動」をテーマに開催。54名の市民の皆様とともに、これからの部活動の在り方を考えました。
- 都市環境委員会 ▶ 令和8年6月6日にリチウムイオン電池内蔵品による火災対策をテーマに開催。身近な危険から暮らしと財政を守る新しい解決策を、29名の市民の皆様と議論しました。



◆ 議会ホームページに掲載する資料を随時検討しています。

◆ 本会議の中継に加え、委員会のYouTube配信を行っています。

◆ わくわく親子議会探検ツアーなど、主権者教育にも取り組んでいます。

議長のメッセージ

これまでの本市議会の議会改革の地道な取組が、全国的にも高く評価され大変光栄です。現在、特に力を入れていることは、政策立案機能の強化です。そのため、常任委員会の任期を試行的に1年から2年にし、各委員会で政策立案を行う試みに挑戦しています。さっそく、福祉文教委員会と都市環境委員会では提言書をまとめ、市へ提出しました。また、議会報告会を開催し、提言書の内容の説明や意見交換を行い、次の新たな政策立案の参考にさせていただきます。

尾張旭市がよりよいまちとなるよう、引き続き、行政の監視機能だけでなく、政策立案機能の強化に取り組んでまいります。